

# 平成26年度「福島県学力調査」結果について 《中学校第2学年》

福島県教育委員会

## ① 調査趣旨

全県的な規模で児童生徒の学習の実現状況を調査し、学習指導上の課題及び学習指導の改善点を明らかにし、各学校等における改善の取組に資するとともに、学習習慣や生活習慣及び意識等と学力との関連性を分析し、学校を中核としながら地域や保護者と連携して学力向上に取り組む基盤づくりを図る。

## ② 実施日程

平成26年11月10日（月）～14日（金）

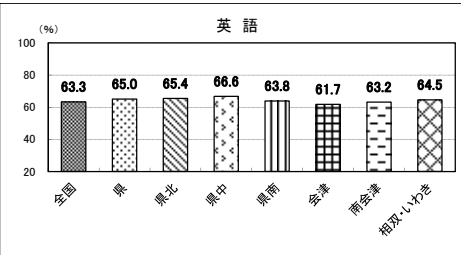
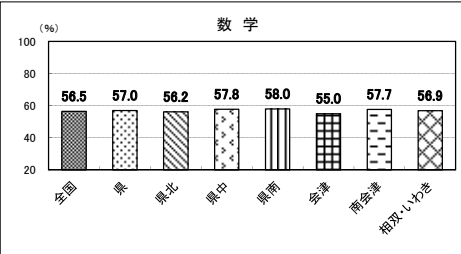
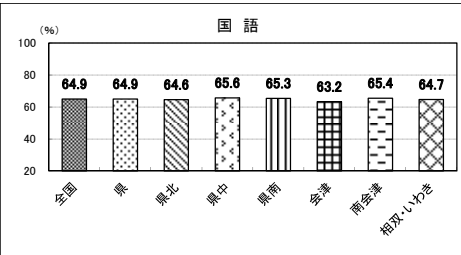
## ③ 受検人数及び調査時間(中2)

【受検人数】			
国語	数学	英語	意識
17,332	17,333	17,334	17,358
【調査時間】			
50分	50分	50分	30分程度

## ④ 用語の解説

**全国：**  
一部オリジナル問題の想定値を含め算出した値。  
**偏差値：**  
全国値を基準（50）にして算出。  
**意識調査：**  
帯グラフは各選択肢の割合。縦棒グラフは各選択肢を選んだ集団ごとの3教科平均正答率。

## ⑤ 生活圏別教科平均正答率



## ⑥ 結果の概要

### 1) 国語

教科全体の平均正答率は64.9%で、全国と同率である。

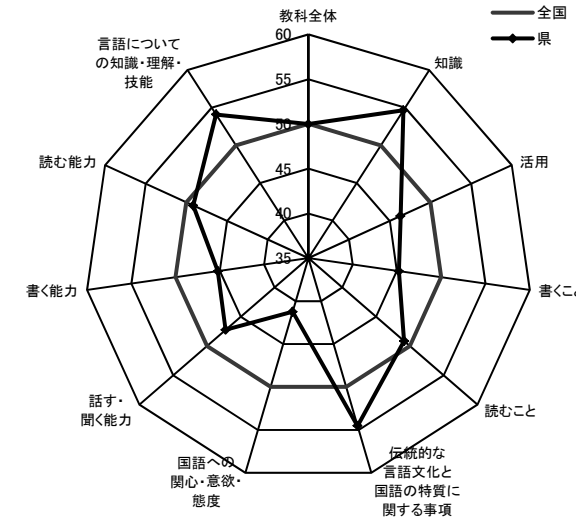
#### ①集計結果 (%)

	平均正答率
県	64.9
全国	64.9

#### ②カテゴリ別正答率 (%)

分類	区分	県	全国
知識・活用	教科全体	64.9	64.9
	知識	74.3	66.6
	活用	54.0	63.0
領域	書くこと	54.5	72.5
	読むこと	58.2	60.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.0	67.3
	国語への関心・意欲・態度	53.2	73.3
観点	話す・聞く能力	51.8	58.2
	書く能力	52.0	67.9
	読む能力	58.2	60.1
	言語についての知識・理解・技能	74.3	67.4

#### ③偏差値によるカテゴリ間の比較



領域別平均正答率では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が7.7ポイント上回っているが、「書くこと」が18.0ポイント下回っている。  
観点別平均正答率では、「言語についての知識・理解・技能」が6.9ポイント上回っているが、「国語への関心・意欲・態度」が20.1ポイント下回っている。

### 3) 英語

教科全体の平均正答率は65.0%で、全国の63.3%を1.7ポイント上回っている。

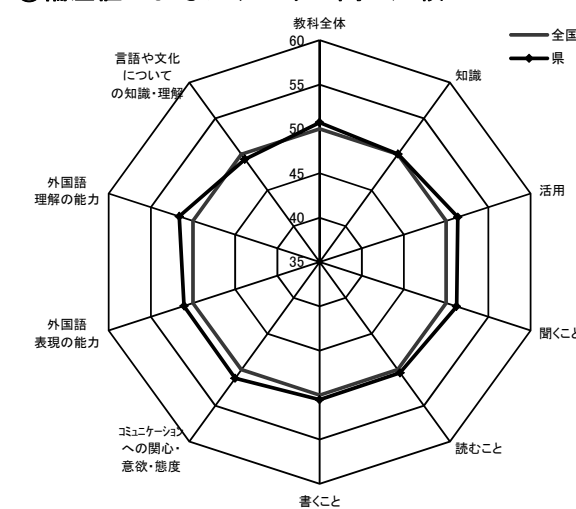
#### ①集計結果 (%)

	平均正答率
県	65.0
全国	63.3

#### ②カテゴリ別正答率 (%)

分類	区分	県	全国
知識・活用	教科全体	65.0	63.3
	知識	71.4	71.3
	活用	55.4	51.2
領域	聞くこと	76.3	73.7
	読むこと	65.2	64.0
	書くこと	56.2	54.6
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	66.2	63.4
	外国語表現の能力	49.2	45.9
	外国語理解の能力	71.6	68.0
	言語や文化についての知識・理解	63.0	64.8

#### ③偏差値によるカテゴリ間の比較



領域別平均正答率では、すべての領域が全国を上回り、特に「聞くこと」が2.6ポイントと最も上回っている。  
観点別平均正答率では、三つの観点が全国を上回っているが、「言語や文化についての知識・理解」が1.8ポイント下回っている。

### 2) 数学

教科全体の平均正答率は57.0%で、全国の56.5%を0.5ポイント上回っている。

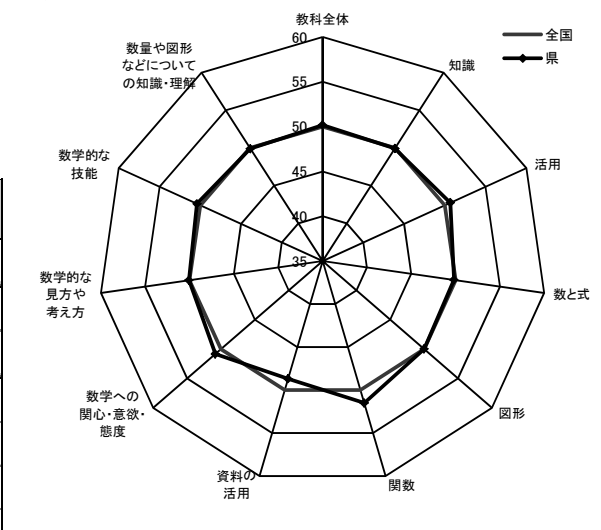
#### ①集計結果 (%)

	平均正答率
県	57.0
全国	56.5

#### ②カテゴリ別正答率 (%)

分類	区分	県	全国
知識・活用	教科全体	57.0	56.5
	知識	56.6	56.8
	活用	57.8	55.8
領域	数と式	65.2	65.7
	図形	53.4	53.5
	関数	53.9	49.8
	資料の活用	49.6	52.2
観点	数学への関心・意欲・態度	54.6	52.3
	数学的な見方や考え方	44.9	44.8
	数学的な技能	61.6	60.6
	数量や図形などについての知識・理解	52.6	52.8

#### ③偏差値によるカテゴリ間の比較

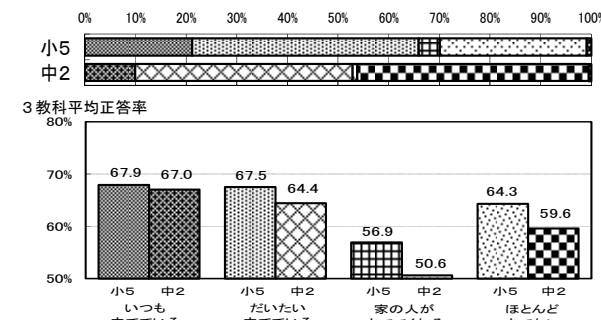


領域別平均正答率では、「関数」が全国を4.1ポイント上回っているが、他の領域は全国を0.1～2.6ポイント下回っている。  
観点別平均正答率では、三つの観点が全国を上回っているが、「数量や図形などについての知識・理解」が0.2ポイント下回っている。

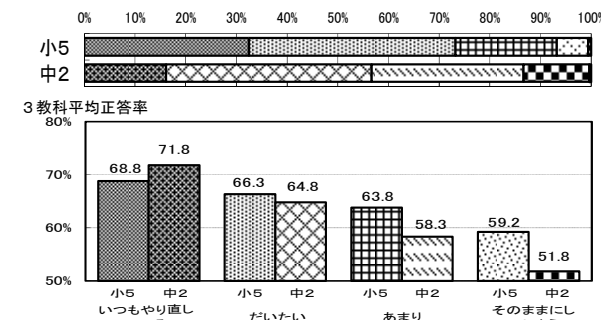
### 4) 意識調査

主体的な学習や、まちがえた問題のやり直し、読書の習慣は、教科学力との関連が深い。

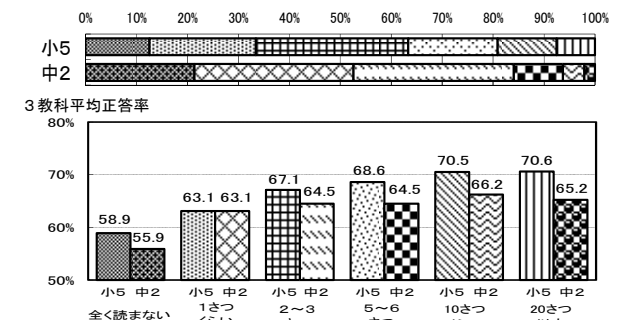
#### ④「家で勉強するときは、自分で計画を立てていますか」



#### ⑤「テストでまちがえた問題は、あとでやり直していますか」



#### ⑥「1か月に何さつくらい本を読みますか（※マンガやざっしはのぞきます）」



「家で勉強するときは、自分で計画を立てている」「テストでまちがえた問題はやり直している」と、肯定的に回答している児童生徒や、1か月の読書冊数が多い児童生徒の方が、教科正答率が高い傾向にある。  
また、④「家の人が立ててくれる」、⑤「そのままにしてしまう」、⑥「全く読まない」と回答している児童生徒の教科正答率が、低くなっていることが分かる。

※①～③の3項目については、裏面に記載。